



ペテロは「最後に言います」と語り始めます。「最後に」とは、大事なことを確認する言い方です。これまでに、奴隷の立場、妻の立場、夫の立場など、それぞれの立場をあげて語ってきて、最後に「つまり私たちは」と彼は語るのです。イエス様にあって神の国をめざして歩む私たちの生き方、それは特別に信仰的な言葉で語られてはいません。「一つ思いになり、同情し合い、兄弟愛を示し、心の優しい人となり、謙虚でありなさい」とは、そうあらねばということではなく、そうあるのだということです。

① 私たちは祝福を受け継ぐために召された

“…あなたがたは祝福を受け継ぐために召されたのです。” 9

② 悪の連鎖に巻き込まれず

“悪に対して悪を返さず、侮辱に対して侮辱を返さず、逆に祝福しなさい。あなたがたは祝福を受け継ぐために召されたのです。” 9

“『あなたの隣人を愛し、あなたの敵を憎め』と言われていたのを、あなたがたは聞いています。しかし、わたしはあなたがたに言います。自分の敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。” マタイ5:43-

“だれに対しても悪に悪を返さず、すべての人が良いと思うことを行うように心がけなさい。…悪に負けてはいけません。むしろ、善をもって悪に打ち勝ちなさい。” ローマ12:17、21

③ 祝福を受け継ぐ者として生きる

“最後に言います。みな、一つ思いになり、同情し合い、兄弟愛を示し、心の優しい人となり、謙虚でありなさい。” 8

聖餐のみことばと祈り

○主の招きのことば

“主イエスは、渡される夜、パンを取り、感謝をささげて後、それを裂き、こう言われました。『これはあなたがたのための、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。』夕食の後、杯をも同じようにして言われました。『この杯は、わたしの血による新しい契約です。これを飲むたびに、わたしを覚えて、これを行いなさい。』”1コリント11:23-25

○悔い改めの祈り

○赦しのみことば

“神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちにいのちを得させていただきました。それによって神の愛が私たちに示されたのです。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があります。”1ヨハネ4:10

○聖別の祈り